

読

YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

響

珠玉のフランス音楽プログラム

色彩の魔術師カンブルランが振る

サロメの悲劇



色彩感あふれるサウンドと愛に満ちた音楽で人気のフランスの名匠

桂冠指揮者=シルヴァン・カンブルラン
Conductor Laurcaté = SYLVAIN CAMBRELING

La tragédie de Salomé

ビゼー:「アルルの女」第1組曲、第2組曲
BIZET: L'arlésienne Suite 1 and 2

ジョリヴェ:トランペット協奏曲第2番
JOLIVET: Trumpet Concerto No. 2

フローラン・シュミット:バレエ音楽「サロメの悲劇」作品50
FLORENT SCHMITT: La Tragédie de Salomé, op. 50

熱いセッションを展開する!
ジャジーなカッコイイ曲で
トランペットの新星オットが



ミュンヘン国際コンクールのトランペット部門で女性として初めて優勝し注目を浴びる新鋭

トランペット=セリーナ・オット
Trumpet= SELINA OTT

読売日本交響楽団 第251回土曜マチネーシリーズ
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Saturday Matinée Series No. 251

2022年10月29日(土)
Saturday, 29 October 2022

読売日本交響楽団 第251回日曜マチネーシリーズ
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Sunday Matinée Series No. 251

2022年10月30日(日)
Sunday, 30 October 2022

両日とも14時開演 東京芸術劇場
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre コンサートホール
S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター-0570-00-4390 (10時~18時 年中無休)

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

©Oliver Kendt

<https://yomikyo.or.jp/>

注目の女性トランペット奏者オットが登場。

カンブルランが得意のフランス音楽を披露し、

官能的で狂気に満ちた「サロメの悲劇」が興奮を呼ぶ！



桂冠指揮者=シルヴァン・カンブルラン
Conductor Laureate = SYLVAIN CAMBRELING

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導いた名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から9年間、読響常任指揮者を務め、幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得た。19年4月から桂冠指揮者の任にある。ベルギー王立モネ歌劇場とフランクフルト歌劇場の音楽監督、バーデンバーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者、シュトゥットガルト歌劇場の音楽監督などを歴任。現在、ハンブルク響の首席指揮者、クラゲフォルム・ウィーンの名誉首席客演指揮者を務めている。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィルなど世界の一流楽団を指揮。17年11月には読響とメシアン「アッジジの聖フランチェスコ」を披露し、サントリー音楽賞に輝くなど、絶賛された。

トランペット=セリーナ・オット

Trumpet= SELINA OTT

難関ミュンヘン国際コンクールのトランペット部門にて、女性として初めて優勝し、世界的な注目を浴びる「トランペット界のミューズ」。ウィーン国立音大やカールスルーエ音大などで、ウィーン・フィルのM.ミュールフェルナー、R.フリードリヒらに師事。2018年にミュンヘン国際コンクールで優勝。ピシュコフやオルソップらの指揮で、ベルリン・ドイツ響、ケルン放送WDR響、ウィーン放送響、マリンスキー劇場管、ハンブルク響などと共演。オルフェオ・レーベルから3枚のCDをリリースし、2021年には「トランペット協奏曲集」がドイツで最も権威ある音楽賞「オーパス・クラシック賞2021」を受賞するなど、何れも高い評価を得ている。今回が初来日。



©Oliver Kendl

2019年3月まで読響の常任指揮者として多くのファンを魅了したフランスの名匠シルヴァン・カンブルランが、約3年半ぶりに来日します。土曜と日曜の午後、会場を包む華麗なサウンドに、どうぞご期待ください。

今回、欧州のオペラハウスで活躍したカンブルランが、物語性のある音楽をドラマティックに響かせます。前半は、ビゼーが作曲した付随音楽から二つの「アルルの女」組曲を披露し、胸躍するような生き生きとした表現を引き出すでしょう。フルートとハーブによる「メヌエット」、熱狂的なクライマックスへと誘う「ファランドール」などの有名曲では、カンブルランの冴えたセンスが光るでしょう。

メインには、フローラン・シュミットの「サロメの悲劇」を演奏し、官能的で狂気に満ちた音楽を作り出します。シュミットが、デュミエールの詩に基づいて付随音楽として作曲し、後に演奏会用組曲として5曲にまとめた作品です。サロメがヴェールをまとって踊る「真珠の踊り」、官能的な音楽による「海の誘惑」などが連なり、金管楽器が咆哮する「稲妻の踊り」、打楽器が打ち鳴らされる「恐怖の踊り」へと続き、興奮のフィナーレへと突き進みます。カンブルランのタクトが生む、切れ味鋭いリズムと、明晰かつカラフルなサウンドをご堪能ください。

前半には、2018年に難関ミュンヘン国際コンクールのトランペット部門で女性として初めて優勝し、注目を浴びる新星セリーナ・オットが初来日します。トランペット界で話題沸騰の新星の初来日に、大きな期待が寄せられています。オットは、ジャズに大きな影響を受けたジョリヴェのトランペット協奏曲第2番で独奏を務め、抜群のテクニックと輝かしい音色を披露します。ピアノや管楽器らによるジャズバンド編成の小オーケストラと、熱気あふれるセッションを繰り広げるでしょう。

読売日本交響楽団 第251回 土曜マチネーシリーズ

2022年 **10月29日** (土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第251回 日曜マチネーシリーズ

2022年 **10月30日** (日) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観覧券】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306(予約受付:平日9時-17時) 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296